

令和元年（2019年）11月15日

内閣府特命担当大臣
（防災担当）

武田 良太様

難病患者等への災害対策に関する要望

一般社団法人日本難病・疾病団体協議会

代表理事 森 幸子

〒170-0002 豊島区巣鴨1-11-2-604

電話 03-6902-2083 FAX03-6902-2084



私ども日本難病疾病団体協議会は、難病・長期慢性疾病、小児慢性疾病等の患者団体及び地域難病連で構成する患者・家族の会の中央団体です。内閣府におかれましては、過去の地震や豪雨等、多発する災害時への防災、減災対策はもとより、災害時の障害者への対応等にお取り組みいただき、感謝申し上げます。

しかしながら、この10月にもまた、台風19号による広域にわたる災害が発生し、難病等を抱える私どもとしては、より一層の取り組みをお願いしたく以下の要望をさせていただきます。

記

1. 災害時の避難を迅速に行えるよう、難病や慢性疾患を抱え、自力では非難が困難である患者を要支援者としての登録を行い、災害状況に応じた避難するしきみを構築するよう、各自治体に指導してください。
2. 難病や慢性疾患患者の中には、学校等の避難所では過ごせない医療的ケアや福祉的ケアを必要とする人、感染症に弱い人たちがいます。適切な病院や福祉施設を含む福祉避難所の確保を進め、要支援者に周知するよう、指導してください。
3. 災害時に重要なのは公助同様、共助が重要です。特に障害者や難病患者等で自力で行動するのが困難な人に対し、避難行動要支援者名簿に掲載し、避難行動要支援者個別支援計画の作成を進めるとともに、日頃から地域で支えあえる共助の仕組みづくりを行うよう、指導してください。
4. 水害等も含めた大規模な災害の発生に備えて、一般的な備蓄の他に、水・医療機器及び医薬品の備蓄と配布方法等のシステムの構築や訓練等の準備、病院における非常用発電機の定期整備や非常用燃料の備蓄、等を推進するよう指導してください。

以上